

山口縣會議事細則

本  
關

山口縣會議事細則

第一章 議場整理

第一條 議員ハ會議ノ時限ヲ誤ラス參着スヘシ

第二條 議員ノ席次ハ籤ヲ取テ以テ定ムヘシ

第三條 議事中ハ議員ノ姓名ヲ唱ヘスレテ席次ノ番號ヲ用フヘシ

第四條 議題ノ外議事中ニ起リタル總テノ事件ハ議長之ヲ決シ或ハ

會議ノ決ヲ探ルヘシ

第五條 議事中ハ議員私語吸煙其他總テ議事ヲ妨グルノ舉動ヲ爲ス

ヲ得ス

第六條 議事中ハ議員漫リニ議席ヲ退クコトヲ許サス

第七條 議員缺席スルトキハ其事由ヲ議長ニ届出スヘシ

第八條 正副議長共ニ疾病其他ノ事故アリテ缺席スルトキハ年長ノ議員假議長公選ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 遅参ノ議員ハ議長ノ許可ヲ得テ議席ニ着クヘシ

第貳章 議事

第十條 議案又ハ報告書ハ議長之ヲ議員ニ頒布スヘシ

第十壹條 議事ハ議案又ハ報告書配賦ノ日ヨリ少クモ一日ヲ隔テ之

ヲ開クヘシ但至急ヲ要スルトキハ此限りニツラス

第十貳條 議事ノ終始ハ議長ノ指揮ニ依ル可シ但號鐘ヲ以テ之ヲ報

ス

第十參條 議事ヲ開クトキハ議長書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシムヘシ

但議長ノ意見又ハ議員ノ建議ニ因リ其朗讀ヲ省畧スルコトヲ得

第十肆條 議事ハ第一讀第二讀第三讀ノ三會ニ區別ス但議長ノ意見

又ハ議員ノ建議ニ因リ第一讀會ヲ以テ第二讀會ヲ兼テ若クハ一讀

會又ハ二讀會ヲ以テ確定議トナスコトヲ得

第十伍條 第一讀會ニ於テハ議題ノ大意ヲ議シ其議題ノ爲メ第二讀

會ヲ開クヘキヤ否ヲ決スヘシ

第十陸條 第二讀會ニ於テハ議案ヲ逐條討論議決シ其議案ノ爲メ第

三讀會ヲ開クヘキヤ否ヲ決スヘシ但議決セル條節ノ整理ヲ要スル

トキハ之ヲ委員ニ附シ其報告ヲ待テ確定ノ決ヲ採ル可モノトス

可也

可也

第拾七條 第三讀會ニ於テハ第二讀會ノ議決ヲ以テ議案トナシ全案ニ就テ議決スヘシ。

第拾八條 議長ノ意見若シクハ議員二名以上ノ建議ニ因リ議案ノ數

條ヲ連帶シ又ハ一條ヲ分別シテ討論議決スルコトヲ得

第拾九條 修正説ハ第二讀會及第三讀會ニ於テ之ヲ提出スルコトヲ得

第貳拾條 第二讀會ニ於テ賛成者ナキモノ及第三讀會ニ於テ五名以

上ノ賛成者ナキモノハ之ヲ議題トナスコトヲ得ス

第廿一條 修正説ヲ提出セントスルモノハ議席ニ於テ陳述シ又ハ録

シテ文案トナシ之ヲ議長ニ出スコトヲ得

第廿二條 修正説ノ否決セルモノハ其同讀會ニ於テ之ヲ提出スルコ

トヲ得スト雖モ論說數派ニ分レ爲メニ議案ト共ニ可決セサル場合

ニ當リ委員ニ於テ起草スル修正案ニ限リ其否決シタル説ヲ採用ス

ルモ妨ナシ

第廿三條 第三讀會ハ第二讀會後少クモ一日ヲ隔テ之ヲ開クヘシ

但至急ヲ要スル場合ハ此限ニアラス

第三章 發言

第廿四條 議長ハ毎日會議ノ終リニ於テ次會ノ議件ヲ報告シ置クハ

第廿五條 已ニ議件報告後議員中ヨリ緊急動議起リタルカ又ハ議長

ニ於テ緊急事件ト認ムルコトアルハ議長ハ會議中諸ヒ議件ノ順

議案ノ提出ハ議長ノ命ニ依リテ之ヲ行フ



呼序ヲ變更スルコトヲ得

第廿六條 發言セント欲スルモノハ起立シテ議長ト自己ノ番號トヲ

ヒ議長其番號ヲ呼ヒ回スヲ待テ發言スヘシ

第廿七條 議員發言中議長ニ於テ無用ノ論說ト認ムルトキハ之ヲ中止シ其理由ヲ陳告スヘシ若シ肯セサルトキハ議長ハ會議ニ際ヒ之ヲ決ス

第廿八條 議長自ラ發言セント欲スルキハ副議長ヲシテ職務ヲ代理セシメ議員席ニ就クヘシ正副議長共ニ發言セント欲ルキハ議長ノ意見ヲ以テ議員中ヨリ假議長ヲ撰フヲ得但此場合ニ於テハ議長ハ當該議題ノ議決後ヲ待テ議長席ニ復スヘシ

第廿九條 惣テ討論問答ハ必ス議長ニ向テ之ヲ爲スヘシ

第三十條 第三讀會ニ於テハ發言二回ニ超ユルコトヲ得ス

第三十一條 自己ノ發議否決スト雖モ其論旨ヲ存セント欲スルモノハ自ラ文案ヲ作り之ヲ議長ニ出シ山口縣會存議錄ニ登錄スルコトヲ得

#### 第四章 表決

第三十二條 出席議員ハ可否ノ數ニ入ラサルコトヲ得ス

第三十三條 可否ヲ決スルノ法ハ起立投票ノ二種トシ議長便宜之ヲ用フヘシ

第三十四條 修正案ハ原案ニ先テ可否ヲ決スヘシ其數ニ議題以上

ノトキハ最モ原案ニ異ナルモノヲ先ニス其先後ニ論アルトキハ惣テ修正案採決ニ先ケテ議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ採ルヘシ

第卅五條 議長ノ意見若クハ議員二名以上ノ建議ニ因リ議題ヲ分合シ又ハ條項ノ順序ニ拘ハラスシテ議決セントスルトキハ議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ採ルヘシ

第卅六條 辨論未タ終ラスト雖モ議長ニ於テ論旨既ニ盡キタリト認ムルトキハ之ヲ會議ニ諮テ其議題ノ決ヲ採ルコトヲ得

第卅七條 可否ノ數ハ書記之ヲ点檢シ其決定ハ議長之ヲ報告ス

第五章 小會議

第三十八條 小會議ハ議案若クハ報告書其他ニ就キ内議ヲ要スル場

合ニ於テ會議ノ決ヲ採リ之ヲ開クヘシ

第三十九條 小會議ノ議長ハ副議長ヲ以テ之ニ充ツ若シ副議長缺席ノ由ハ幹事<sup>淺上</sup>中ヨリ假議長ヲ互撰スヘシ

第四十條 小會議ハ本則ニ從フヲ要セスト雖モ總テ議事ヲ妨クルノ舉動ニ爲スコトヲ得ス

第四十一條 小會議ハ議員三分ノ一ニ充サルトキハ議事ヲ開クヘカラス

第四十二條 小會議ノ可否ハ比較多數ヲ以テ決スヘシ

第六章 委員

第四十三條 議案修正案ノ査理其他會中ニ起リタル事件ノ執行又ハ

第廿二條後段ノ場合ニ遭遇シ更ニ修正案ノ起草ヲ要スルキニ於テ  
議長ノ意見若クハ議員二名以上ノ建議ニ因リ委員ヲ撰定セント欲  
スルキハ會議ノ決ヲ採ルヘシ

第四十四條 委員ハ議員中ニ於テ議長之ヲ命シ又ハ議員ナシテ之ヲ  
撰舉セシムヘシ但奇數ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 委員ハ其附托セラレタル前案ヲ取捨シ或ハ之ヲ改竄ス  
ルコトヲ得而シテ議案ノ外會中ニ起リタル事件ニ附テハ會議ノ意  
旨ヲ變更スルコトヲ得スト雖モ之ヲ實施セル手續等惣テ委員會ノ  
意見ハ比較多數ニ依テ之ヲ決シ其理由ヲ録シテ之ヲ議長ニ報告ス  
ヘシ但第十六條但書ノ場合ニ於テハ條節ヲ轉置シ字句ヲ修飾シ欠

條ヲ補足スルヲ得ルト雖モ其議決セル條項ノ意義ヲ變更スルコト  
ヲ得ス

第四十六條 修正説ヲ提出シタルモノハ委員會中ニ列シ其主旨ヲ辨  
明スルコトヲ得但可否ノ數ニ入ラス

第七章 幹事

第四十七條 議長ノ意見ヲ以テ席次ニ依リ議員ヲ數組ニ分テ總議員  
ノ中ニテ毎組幹事一名充テ公撰シ傳達等ノ事ヲ掌ラシム